

1. 件名：「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の使用施設における核燃料物質の不適切な管理及び安定化処理の完了」に関する面談

2. 日時：令和3年8月2日（月）13時30分～14時15分

3. 場所：

（1）原子力規制庁2階会議室

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

東京事務所

核燃料サイクル工学研究所

※本面談は、テレビ会議にて実施

4. 出席者

（1）原子力規制庁

原子力規制部 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官、木村主任監視指導官、宮坂原子力運転検査官

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

部長 他6名

5. 要旨

（1）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、前回令和2年8月25日の面談時に未完了であった核燃料サイクル工学研究所（以下「核サ研」という。）における核燃料物質の使用施設に係るグローブボックス・フード等への核燃料物質の長期間保管等の不適切な管理、貯蔵容器等の中の核燃料物質の安定化処理及び是正処置について、配布資料に基づき説明があった。

（2）JAEAから、核燃料物質の安定化処理については、予定通り令和3年6月末日までに完了したこと及び安定化処理が完了したことの確認・承認等が核サ研の定める要領に基づき行われたことについて説明を受けた。

（3）原子力規制庁から、本件を踏まえ、核燃料物質を適切に管理すること及び不安定な状態のまま保管せず安定化することを着実に実施するよう要請した。

6. 配布資料

JAEAからの配布資料

- ・「原子力機構における核燃料物質の不適切な管理及び燃研棟事故後の総点検により抽出した貯蔵容器等の安定化処理の完了報告」